

(1) 研究主題

「自律した学び手の育成」
～学びを委ねる効果的な在り方を通して～

(2) 主題設定の理由

昨年度は、加賀市の推し進める「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」を目指し、国語・算数・理科・社会・生活の幅広い教科で取り組み、それぞれの教科にあった子どもに委ねる時間の取り方を模索してきた。

学校共通の取り組みとして、単元構想シートの作成や、学習形態を児童が選択する場の設定を行った。単元構想シートの作成により、単元全体を見通した授業構想ができ、個別・協働の場を計画的に取り入れることができた。さらに、構想シートを簡略化した学習計画表を児童と共有することで、児童が見通しをもち学習に取り組めた。また、1時間ごとの授業の中では、児童に学習形態（誰と、何を使用してどのように）を選択させることで、深い学び合い、教え合いにつながっていた。

しかし、児童によっては友達と勉強をしたいという思いに捉われ、自分の学習を調整するという点で不十分な姿も散見した。また教師主導の課題設定になったり、教師主導の時間が多かったりと子どもに委ねる時間が短くなってしまいうことも課題として残った。

今年度は、昨年度の成果と課題を生かしつつ、児童に委ねる時間を多くとることで、児童が自分の学習を自分で振り返り、調整していける自律した学び手になれるよう組織的に研究を進めていく。算数科に教科をしぼり、学年、学級の実態に合わせながら、児童に育むべき資質・能力の向上や教科のねらいの達成を目指しつつ、自律した学び手に育てていけるよう単元構想を行う。また授業の形態に合わせた教師の関わり方、必要な手立て、振り返りの仕方なども考えていきたい。

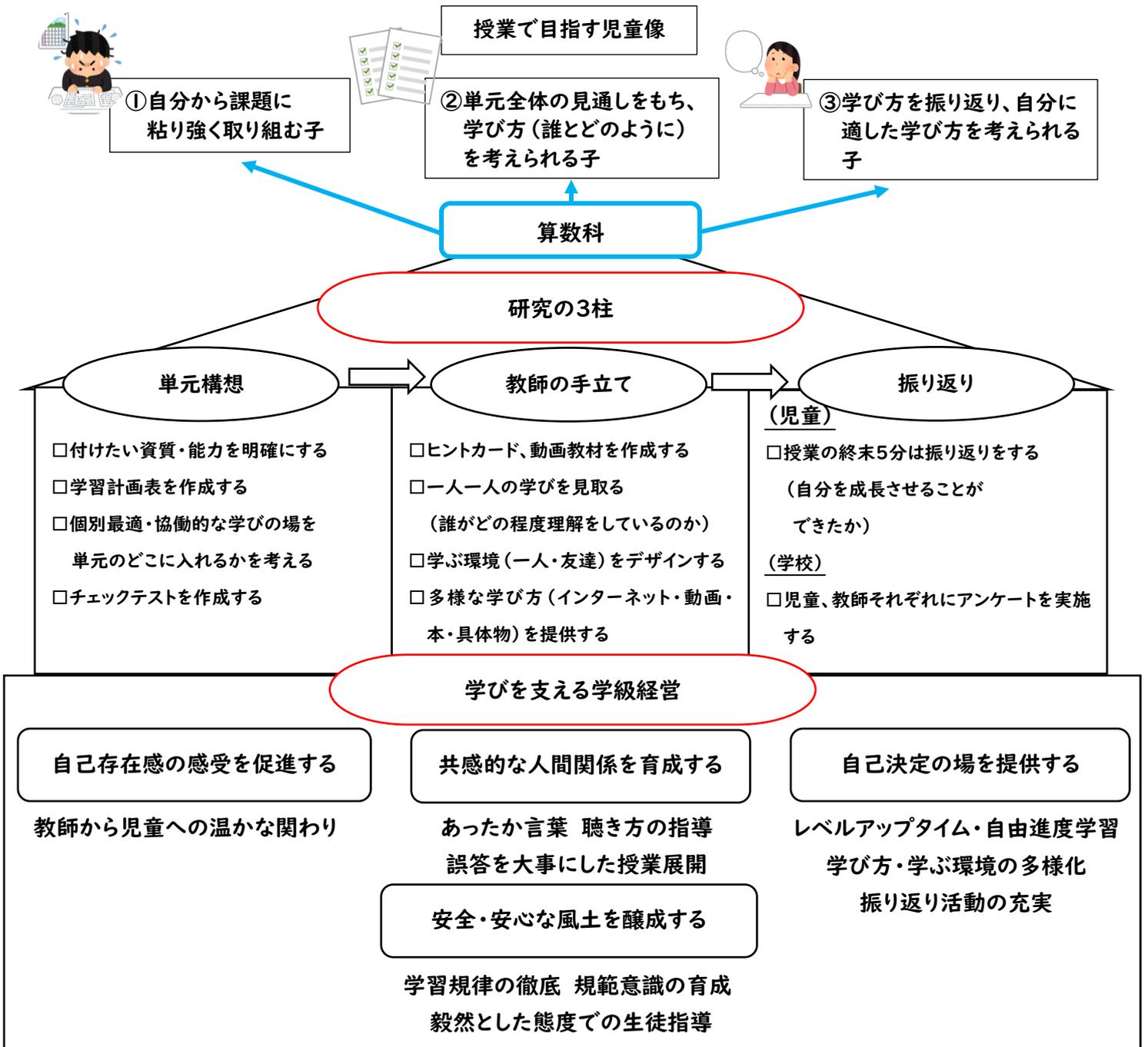
それらの思いを踏まえ、今年度の研究の主題を「自律した学び手の育成～学びを委ねる効果的な在り方～を通して」とした。

(3) 研究構想図

学校教育目標
「自ら考え、協働できる児童の育成」～みんなが幸せになれる学校をみんなでつくる～

めざす児童像
みんなが幸せになれるために 協働する子

研究主題
「自律した学び手の育成」
～子どもに委ねる学びの効果的な在り方を通して～



(4) 研究内容

研究主題を達成すべく4つの内容を設定する。

①単元構想

- ・深い教材研究を通し、身につけたい資質能力や教科のねらいを教師が明確にもつ。
- ・児童が見通しをもち、計画的に学習を進めることのできる学習計画表を作成する。
- ・個別最適・協働の場をどこに入れ込んでいくのかを考える。
(自由進度学習を何時間分入れるのかなど)

②教師の手立て

- ・ヒントカード、動画教材を作成する。
- ・一人一人の学びを見取る(誰がどの程度理解しているのか)。
- ・授業の中で、学ぶ環境(一人・友達)をデザインし、児童に選択させる。
- ・多様な学び方(動画・本・インターネット・具体物の使用)を提供する。

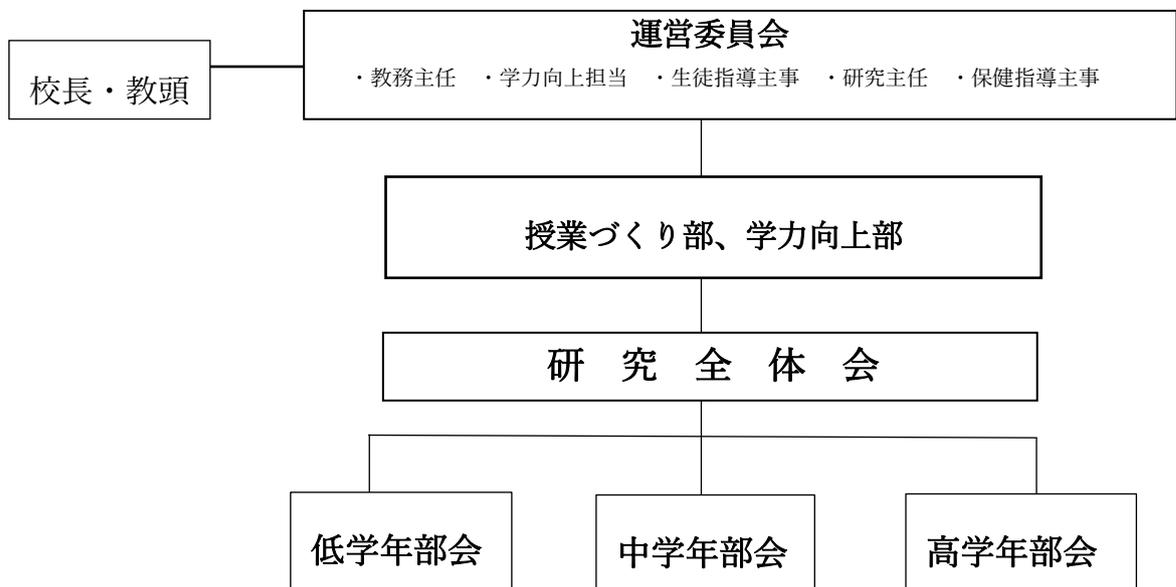
③振り返り

- ・授業の終末5分を振り返りの時間とし、1時間の自分の学びを3段階評価や文章記述で振り返る。
- ・学期毎に児童、教師それぞれアンケートを実施し、結果を分析し研究にいかす。

④学級経営

- ・生徒指導の4つの視点を意識した学級経営を行う。

(5) 研究組織



(6) 研究方法

①日常的な取り組み

- ・算数科を中心に、子どもに委ねる授業を各学級に合わせた形で取り入れていく。
※年間を通して子どもに委ねる時間を増やせるよう授業を構想していく。
- ・授業の終末で振り返りを取り入れていく。自律した学び手になるために、どのような方法で振り返りを行っていくとよいのか、定期的に低中高部会で話し合い、練り上げていく。

②全学年の研究授業、公開授業

- ・「子どもに委ねる学び」を取り入れた授業発表を行う。事前授業を他クラスで行い、改善案を各部会で話し合い、校内に向けて発表する。なお、低・中・高から一人、代表を決め、代表者の授業について全職員で模擬授業に参加する。当日の授業も参観し、検討会を通して授業力を高める。

③学習の基盤づくり

- ・錦城スタンダードを活用し、全校統一した方向性で児童を育てていく。
- ・生徒指導の4つの視点を意識した学級経営を行う。
- ・話すこと、聞くことの指導を行う。

④検証・評価・改善の徹底

- ・教師、児童アンケートを実施し、結果をもとに改善を図る。

⑤校内研修サポートや加賀市教育委員会、教育先進校から学ぶ研修

以下に挙げる3つを通し、授業改善を行う。

- ・プロジェクトマネージャーの招聘
- ・小松教育事務所の指導主事から指導・助言
- ・先進校の視察

(7) 研修計画

1 学 期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の基本方針、研究主題、研究内容、研究方法の決定 ・組織作り（年間の公開授業・研究授業の予定、単元の設定） ・ノートの書き方 ・校内研修会 ・提案授業（4年2組）
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表の使い方 ・振り返りの書き方 ・話す、聴くことの指導 ・公開授業（年組）
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での教材研究、授業構想 ・公開授業（年組）高学年
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流週間（教師間でペアを組む） ・3～6年は算数で一単元自由進度学習 ・1学期の取り組み検証 ・校内研修会
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会 ・公開授業教材研究、授業構想
2 学 期	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業（年組）
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業（年組）低学年
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業（年組）中学年
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業（年組） ・2学期の取り組み検証 ・今年度の反省と来年度の研究についてのアンケート実施 ・校内研修会
3 学 期	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要の作成と発行
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流週間（1つ上学年の授業を参観する） ・今年度の反省と来年度の方向づけ
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の研究構想